

大阪聖ヨゼフ宣教修道女会／シヨファイユの幼きイエズス修道会

誓願式



大阪聖ヨゼフ宣教修道女会

3月18日、本部祈りの家(みこころの聖堂)で集う50人に見守られ、初誓願・終生誓願式が行われた。



2人はベトナムから、もう1人はブラジルから導かれた誓願者

新型コロナウイルスの感染状況を踏まえて、参列者は修道会内だけにとどめたが、YouTubeのライブ配信を通してベトナム、ブラジルのご家族、また、遠方の支部の姉妹もひとつになって祈り、神様から託されたヨゼフ会の使命を共に生きる姉妹の誕生に感謝と喜びの一日となった。

前田万葉大司教の説教では「貞潔、清貧、従順の三誓願の深みを生きることによって、神の国のあかしとなり、神がおられること、神の国があることを証し、人びとの希望となるように」と誓願者に言葉が送られた。



終生誓願者  
グエン ティ トウ エト スウォン (ベトナム出身)

初誓願、終生誓願宣立の喜びに輝く、清々しい4人の姉妹から修道会も力をもらった。何年たっても一日一日が新しいスタートの日であることを思い起こした。

誓願者の声

◆「神の計らいは限りなく生涯私はその中に生きる」限りない愛をいつも注いでくださる神様はいつ私を選んでくださったのか。いつ呼びかけてくださったのか。私たちには分かりませんが奉獻の道歩んでいます。◆一步一步、神様は私たちの手を取って導いてくださり、この喜びの日を迎えることができました。神様に感謝します。◆この道を歩んで行くために神さまは私のそばにたくさんの人を送って来てくださっています。家族を始め、多くの恩人、知人は常に私たちのために祈ってくださっています。そしていつもわたしたちとともにいる姉妹のみなさまのお祈りと支えによって、この日を迎えることができましたことも心から感謝申し上げます。◆これからの日々、イエス様の似姿になるように励んでいきたいと思ひます。私たちが主のみ声を聞きながら奉獻生活を明るく忠実に歩んで行くことができますように、お祈り、支え、助けてください。よろしくお願ひいたします。



シヨファイユの幼きイエズス修道会

3月23日、仁川本部修道院大聖堂で、前田万葉大司教をはじめ4人の司祭の共同司式により、3人の初誓願宣立式と感謝の祭儀が行われた。



厳肅な空気の中、初誓願宣立

コロナ禍の影響により、仁川本部修道院のシスターズを中心とした参加となったが、家庭的な雰囲気の中、喜び・希望・感謝の心が聖堂にみなぎった。感謝の祭儀で前田大司教は、貞潔、清貧、従順について、具体的にわかりやすく語った。重ねて、積極的な三誓願を生きるよう、マリア様の成れかしの成りようにと、誓願者を励ました。また、「タンポポのごとしベトナム誓願者」の句をはじめ数々の



初誓願、奉獻生活の第一歩

俳句を詠み、初誓願者への愛のこもった贈り物を披露した。

白無垢に身を包んだ3人のベトナム人誓願者の、日本語で主への愛と召命への感謝をこめて読みあげる誓願文に心打たれた。式後の祝賀会は家庭的な雰囲気の中で、和気あいあいと喜びを分かち合うことができ、楽しいひと時であった。神に感謝！

誓願者の声

これまでお祈りで支え導いてくださった方々への感謝と、これからもお祈りくださるようにとの願いをこめて「ありがとうございます！」



ハラスメント対応委員会に松浦信行神父(サクラファミリア施設長)が就任

聖堂前面に、癒しを願う「自然」を中心とした映像が映し出され、聖書朗読(創世記・コリント書・ルカによる福音書)を要所にはさみながら、被害を受けた子ども、家庭内・身内・知人から被害を受けた人、被害を誰

にも話せない人・被害のため孤独に なっている人・誰も寄り添ってくれない人がいない人、フラッシュバックや二次被害に苦しむ人、を沈黙の中で想起し神の助けを祈り求めた。また、加害者の回心のため、創造の祝福を壊す社会の現状の癒しのため、東日本大震災によって今も苦しんでいる人のためにも祈った。

ハラスメント対応委員会(文 大阪教区ハラスメント対応委員会)

動画配信している 司祭紹介

新型コロナウイルス感染症が蔓延して、教会活動が困難になっていた中、動画配信により信仰を深める機会を与え続けてこられた司祭のみなさんを紹介し

YouTube 酒井俊弘補佐司教
\*今後も動画配信している司祭を紹介していきます、是非情報をお寄せください
チャンネル登録者数922人
個人YouTubeのチャンネル QRコード
https://www.youtube.com/channel/UCzfd3pxS2Djis71V7NS7tGw
2022年のふり返し再生回数 ベスト10 QRコード
https://youtu.be/ogHQ4R48Dag
上記のアドレスをコピー、検索サイトに貼付して視聴できます
...2022年YouTube配信の振りかえり...
直接言葉をかわす機会は少ないですが、双方向のやり取りはできない、そういう限界はありますが、動画を見ている方々の少しでもお役に立てるのであれば、これほどうれしいことはありません。
……続きはQRコードを読み取ってご覧ください。

大阪教区ハラスメント対応委員会
性虐待被害者のための
祈りとつぐないの日にもむけて
日差しが暖かくなり、春らしくなってきた3月11日(土)午後2時から、サクラファミリアにおいて「性虐待被害者のための祈りとつぐないの日」に向けて「テゼと聖書による祈りの集い」が行われた。
これは、2016年、教皇フランシスコが、子どもへの性虐待に対する教会のメンバーの責任について明確に意識できるよ

祈りの歌をくり返し
人びとをつなぐテゼの祈り
福音の朗読(善いサマリア人のたとえ)の後の「メッセージ」では、「(立場上)被害者に厳しく接したことが、自分でも知らないうちに、相手に二次被害をもたらしていた経験も語られた。これはわたしたち誰もが「加害者にもなり得る」ことを教えてくれた。
テゼの祈りを繰り返して歌うことによって、性虐待による被害という、とても大きく大きな痛みに対しての無力さを感じることも、無力であるにも関わらず、こうして一つに集まって被害者に思いを馳せるわたしたち皆